

工業系事業者アンケート結果要約

第三次羽村市産業振興計画 策定のための基礎情報

要約の内容

- 01 アンケート概要 p3-p4
- 02 質問構成第 1 部 事業者概要 p5-p6
- 03 質問構成第 2 部 経営の現状と課題 p7-p11
- 04 質問構成第 3 部 羽村市での操業環境と課題 p11-p16
- 05 課題解決に向けた工業施策の方向性 p17

01

アンケート概要

対象業種・調査目的・質問の構成など

アンケートの調査目的と構成

- 対象業種：羽村市の工業系事業者
- 調査目的：羽村市の工業系事業者の経営状況・課題・市への期待を把握し、産業振興計画策定の基礎情報を収集
- 実施時期：令和8年3月中旬～4月20日
- 実施方法：Web回答
- 質問構成：全22問を3部構成で実施
 - 第1部：事業者概況 — 事業内容・企業形態・従業員数・売上・経営者年齢・創業年数など
 - 第2部：経営の現況と課題 — 業績動向・事業展開計画・後継者問題・デジタル化状況
 - 第3部：羽村市での操業環境と期待 — 市でのメリット・課題・行政支援の利用状況と重要度
- 回答数：32社

02

質問構成第 1 部 事業者概要

事業内容・企業形態・従業員数・売上・経営者年齢・創業年数など

回答いただいた事業者の概要

- 【業種】 32社中、製造業、建設業が23社。不動産業が4社。
- その他—プロパンガス販売業、技術サービス業、不動産登記業務、サービス業
- 【企業形態】 法人：28社（88%）、個人事業主：4社（13%）
- 【従業員数】 10人までの事業者が16社（51%）
 パート、アルバイトは9社が0人（28%）16社が1～5人（50%）
 外国人従業員は25社が0人（78%）、一方51人～100人が1社（3%）
- 【年間売上高】 1億円～10億円が最も多く13社（41%）、次いで3,000万円未満で7社（22%）
- 【経営者の年齢】 50歳代が16社（50%）、60歳以上も10社（32%）
- 【創業年数】 31年～50年が10社（31%）、51年以上が14社（44%）
- 【羽村市での営業年数】 31年～50年が11社（34%）、51年以上が8社（25%）

アンケート結果p1-p3 質問1)～9)

03

質問構成第 2 部 経営の現状と課題

業績動向・事業展開計画・後継者問題・デジタル化状況など

売上・業績予想・事業展開

5年前と直近の売上比較

- 17社（54％）が増加し、変わらないは9社（28％）、6社（18％）が減少した。

今後の業績予想

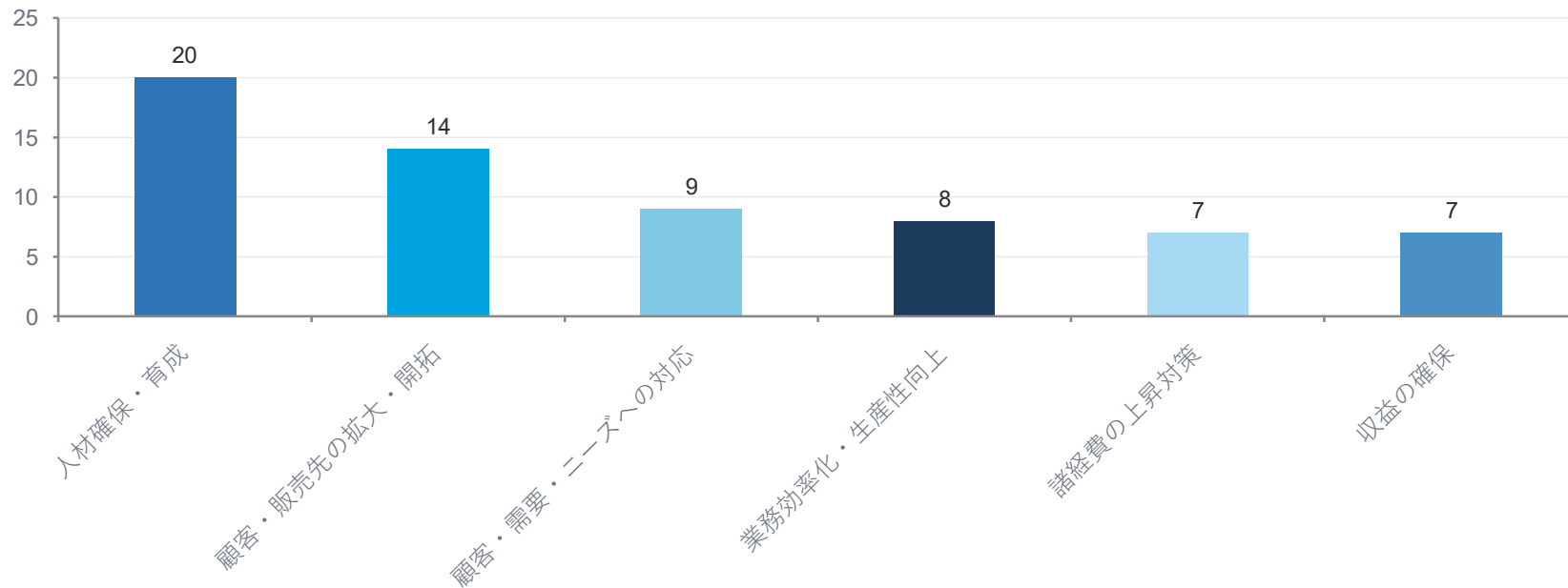
- 改善するが10社（31％）、現在の状況が続くが13社（41％）であった。
- 一方、悪化するが4社（13％）で、5社（16％）がわからないと答えた。

今後の事業展開

- 事業を拡大するが12社（37％）だったが、内2社（6％）が市外で事業を拡大と回答
- 現状維持は14社（44％）で、事業を縮小するが2社（6％）、未定が4社（13％）であった。
- 廃業を予定しているとの回答はなかった。

アンケート結果p4 質問10)～12)

経営上の主要課題（重要度順）



※複数選択式（最大3項目）の回答を重要度順に整理したイメージスコア

アンケート結果p5 質問13)

**最大の経営課題は「人材の確保・育成」
事業承継（後継者）問題も深刻化**

04

質問構成第 3 部 羽村市での作業環境と期待

羽村市でのメリット・課題・行政支援の利用状況と重要度

羽村市での操業環境：メリットと課題

✓ 良い点・メリット

- 行政や商工会の支援の充実度
- 市内外の交通・インフラの利便性
- 事業者間連携が図りやすい立地環境
- 工業地域の集積度

⚠ 課題・ニーズ（改善要望）

- 人材確保が困難
- まちのイメージアップ
- 市内の交通・インフラの利便性
- 行政や商工会の支援の充実度
- 工業用地の不足（住宅地化により拡張余地なし）

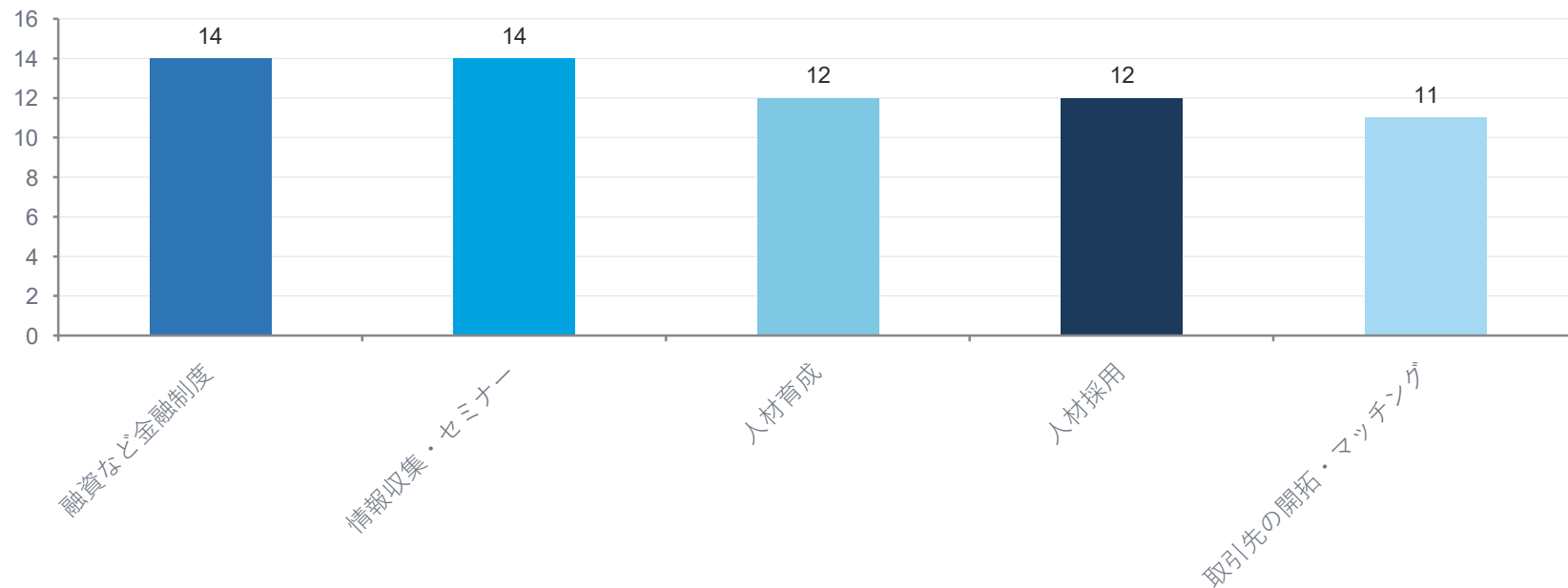
アンケート結果p8 質問18）、19）

支援制度の利用状況と重要度

- 【利用度：高・重要度：高】
 - ・ 企業活動支援事業－企業活動支援員の個別訪問によるきめ細かい経営支援
- 【利用度：低・重要度：高】
 - ・ 人材育成及び人材確保支援事業助成金－人材確保に対するコンサルティング費用や採用に係る企業説明会への出展料、講習会や研修、資格取得等に要する経費を支援
 - ・ 中小企業、小口零細企業資金融資制度－小規模事業者を中心に資金面の支援
 - ・ 中小企業経営基盤強化助成金－働く環境の整備やDX等による生産性向上の取組みを支援
 - ・ ビジネスハンズオン－中小企業診断士や社労士等の専門家派遣による問題解決
- 【課題あり】
 - ・ 平均 4 割で「各制度について知らない」－支援制度の存在を知ってもらうことが重要
 - ・ 創業系支援－市内産業の活性化につなげるため、内容の充実、利用促進が必要

アンケート結果p9-p19 質問20) 1～11

市への支援ニーズ上位5項目（件数・割合）



回答割合：金融制度 44%、情報収集 44%、人材育成 38%、人材採用 38%、取引先開拓 34%

アンケート結果p20 質問21)

資金・人材面の支援ニーズ

資金面

- 融資など金融制度：44%（1位）
- 中小事業者の資金調達ニーズが高い
- 経営安定化・設備投資への活用が想定される

人材面

- 人材育成：38%（3位）
- 人材採用（合同就職説明会等）：38%（3位）
- 採用・育成の両面で課題を抱える事業者が多い

情報収集・セミナーも44%（1位同率）で学習機会への需要大

アンケート結果p20 質問21)

第三次羽村市産業振興計画で重視すべき点

短期的な支援

- 専門家派遣（ビジネスハンズオン）の枠拡大
- 初歩的ビジネスマナー・業務改善セミナーの開催
- 小規模事業者（1～10名）への優先的・定着的支援
- 賃貸工場の増設による事業スペース確保
- 他市と差別化した「羽村独自」の尖った施策の立案

中長期的な戦略（計画的推進）

- 地域循環型経済（ローカルゼブラ政策）の構築
- 工業用地の戦略的ゾーニング・準工業地域の再編
- 行政DXの徹底（マイナンバー活用・標準仕様導入）
- 外国人材との共生支援（生活基盤・定着支援）
- 工業系専門学校の設立による人材パイプライン構築
- BCP（事業継続計画）を軸にした工業エリアのブランド化

アンケート結果p20 質問22)

05

課題解決に向けた工業施策の方向性

- 人材確保と育成（高齢化対応や若手確保の両立、教育機関との連携強化）
- 事業継続・後継者問題への支援強化（事業承継への具体的支援、経営者交代期の経営安定化支援）
- デジタル化への対応と支援拡大（中小企業DX推進の加速、DX導入補助と運用支援の充実）
- 外国人材の活用と定着支援体制整備（生活支援を含めた総合的な受け入れ態勢、多言語対応の充実）
- 施設・インフラの充実と活用促進（工業用地の確保、小規模賃貸工場の増設）
- 行政支援の最適化と差別化（支援制度の認知度向上、羽村市独自の戦略的施策の構築）

アンケートへのご協力、
ありがとうございました。